

AT-03 ウインドシールド 取扱・取付説明書

適応機種：ヤマハ車 アクシストリート125E
(EBJ-SE53J)

- 販売店様へ
この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ
この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

このたびは、AFウインドシールドをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

部品構成表

No	部品名称	QTY	No	部品名称	QTY
①	シールド*ASSY	1	⑧	フランジボルト M8x45	1
②	ステー	2	⑨	フランジナット M8	1
③	ホルダー-Z	2	⑩	ボルト M8X45 逆ねじ	1
④	ナット M10	4	⑪	スプリングワッシャー 8mm	2
⑤	スプリングワッシャー 10mm	2	⑫	ナット M8 逆ねじ	1
⑥	プレーンワッシャー 10mm	8	⑬	カラー16X8.5X30	2
⑦	キャップナット M10	4	⑭	取扱取付説明書*	1

スクリーン取扱について

⚠ 注意

- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- ウインドシールドが汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
ウインドシールドは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- ウインドシールドの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。
またバッテリー液、ブレーキフルードがウインドシールドに付着しないようにしてください。
ウインドシールドのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー（車体カバー）をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
ボディカバー（車体カバー）をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、ウインドシールドが
変形する場合があります。
- ボディカバー（車体カバー）を使用の際は、ウインドシールドに無理な力がかからないものをご使用ください。
小さなものを無理にかけますと、ウインドシールドが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。
- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。スクリーンの構造上、光を集める性質が有る為
駐車の際は、風通しのよい日陰に駐車してください。

⚠ 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめにして走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所（路面の固い平坦地）を選んでください。
ウインドシールドの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、
シールドの交換を行ってください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。
- 締め付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を
死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

取 付 方 法

I

はじめに、本機バックミラーを取り外します。

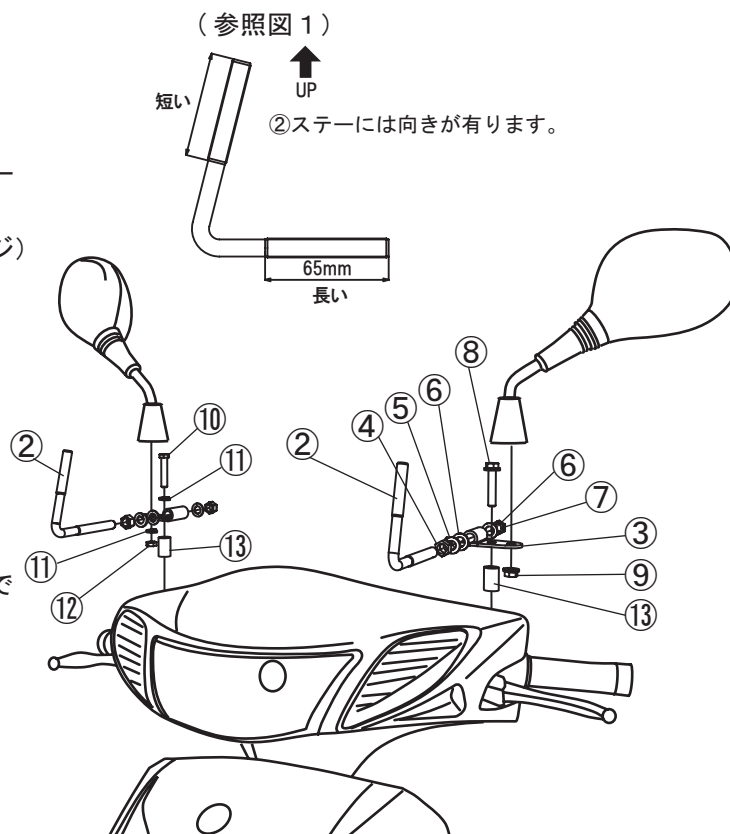
次に、図の様に左側は ③ホルダー-Z を ⑬カラー
⑧フランジボルトを使い仮組みします。
右側は ③ホルダー-Z を⑬カラー⑩ボルト（逆ネジ）
⑪スプリングワッシャー-M8を使い仮組みします。

次に、②ステー、を ④ナット10mm、
⑤スプリングワッシャー10mm、
⑥プレーンワッシャー10mm、
⑦キャップナット10mmで ③ホルダー-Zに
仮組みします。

※③ホルダー-Zには取付け時向きが有りますので
向きに注意してください。

※②ステーには取付け時向きが有りますので
向きに注意して下さい。（参照図1）

次に、本機バックミラーを
左側は、⑨フランジナット8mmを使い
右側は、⑪スプリングワッシャー8mm、
⑫ナット8mm（逆ネジ）を使い仮組みします。



II

②ステーに、①シールドASSYを
④ナット10mm、⑥プレーンワッシャー10mm
⑦キャップナット10mmを使い仮組みします。

最後に前後左右のバランスを調整をし、
ボルトナット類を確実に締め込みます。

